

下田才

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十四日發行)

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

縣報 第八十六號

明治卅六年三月廿一日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第二十六號

炭疽疫生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年三月十八日

和歌山縣知事 椿 基一郎

一 那賀郡山崎村大字畑毛

東 赤井房太郎宅地東手小溝限

西 赤井由太郎赤井翁太郎宅地限

南 赤井房太郎宅地前小溝限

北 藤井岩楠宅地限



一 圖

縣報第八十六號

明治三十六年三月廿一日

第三種郵便物認可

一

○和歌山縣令第二十七號

明治三十三年縣令第五十二號ヲ左ノ邊リ改正ス

明治三十六年三月十八日

和歌山縣知事 轉 爲 一 郎

渡航ニ關スル規則

第一條 法令ノ規定ニ依リ外國ニ渡航セントスル者ハ其目的ニ從ヒ第一號第十二號様式ニ依リ願書ニ左ノ事項ヲ添ヘ所轄警察官署ヲ經由シ當廳ニ差出スヘシ

一 戶籍ノ原本

二 兵役ニ關スル證明書

三 保證人ヲ立ツル場合ニ於テハ保證人ノ納稅額ニ關スル市町村長ノ證明書

四 在外者ノ呼寄ニヨリ渡航セントスル者ハ其在留者ノ職業及在留證明書並ニ呼寄書(封筒トモ)

五 商業又ハ學術技術ノ研究ノ爲メ渡航セントスル者ハ其履歷書並本人又ハ出資者ノ地租所得稅及營業其ノ他ノ納稅額ニ關スル市町村長又ハ領事ノ證明書

六 願人寄留者ナルトキハ其寄留地ノ市町村長ノ寄留證明書

第二條 家族又ハ未成年者ノ願書ニハ其戶主又ハ後見人ノ連署ヲ要ス

第三條 移民保護法第十三條ニ依リ移民取扱人ニ於テ移民ト書留契約ヲナストキハ本紙ニ通ノ外寓一額ヲ添付シテ認可ヲ申請スヘシ

第四條 移民取扱人ニ依リ州縣者ハ其願書ニ認可ヲ受ケタル契約書ノ寫一通ヲ添付スヘシ

縣報第百八十六號

明治三十六年三月廿一日

第三種郵便物認可

二

第五條 移民保護法第三條ニ依リ外務大臣指定ノ地ニ渡航スル移民ノ保證人ハ二人トス

前項ノ保證人ハ願人ト同一郡市内ニ居住シ且地租拾五圓以上又ハ土地ヲ有シ所得稅ヲ納ムルモノナルコトヲ要ス

地租五拾圓以上又ハ土地ヲ有シ所得稅拾五圓以上ヲ納ムル者ハ二人マテノ保證人トナルコトヲ得

第六條 商業又ハ學術技術研究ノ爲メ外國ニ渡航セントスル者ハ一人ノ保證人ヲ要ス但シ濟韓兩國並露領西比利亞東部地方及薩哈連曠ニ渡航スル者ハ保證人ヲ要セス又時宜ニヨリ本文ノ場合ニ於テモ保證人ヲ免スルコトアルヘシ

前項ノ保證人ハ願人ト同一郡市内ニ居住シ且地租拾圓以上又ハ土地ヲ有シ所得稅ヲ納ムル者ナルコトヲ要ス

地租貳拾五圓以上又ハ土地ヲ有シ所得稅拾圓以上ヲ納ムル者ハ二人マテノ保證人トナルコトヲ得

第七條 左ノ事項ニ該當スル者ハ保證人トナルコトヲ得ス

一 妻、未成年者、禁治產者及準禁治產者

二 公權剝奪者トシテ停止中ノ者

三 破產又ハ家實分數ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得タル者又ハ身代限リノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘタル者

第八條 保證書ハ第三號様式ニ依リ願書ニ添付スヘシ

現ニ保證人タルモノ更ラコ他ノ保證ヲナストキハ前ニ保證シタル渡航者ハ族籍氏名及保證年月日ヲ保證書ノ末尾ニ附記スヘシ

同時ニ二人ノ保證ヲナストキハ雙方ノ保證書ニ前項ノ附記ヲナスヘシ

第九條 婦女子コレヲ父母若クハ夫又ハ子弟ニ從ヒ或ハ在外夫等ノ呼寄ニ依リ渡航セントスル者ハ各官員(父母夫婦等同)ヲ携帶スヘシ

第十條 旅券及渡航許可証ハ當國ヨリ警察官署ヲ經テ本人ニ下附ス但シ本人又ハ移民取扱人(委任狀ヲ要ス)ニ於テ直ニ之ヲ受ケントスルトキハ豫メ其旨ヲ副願スヘシ

旅券ノ下附ハ第四號様式ニ依リタル領收書ト引換ニナスコトヲ要ス

第十一條 移民保護法施行細則第二十三條ニ依リ移民取扱人ヨリ渡航者名簿歸國者名簿又ハ死亡者名簿ヲ當國ニ届出ツルトキハ正副二通差出スヘシ

第一號書式

外國旅券下附願

私儀今般某國ニ渡航又ハ往復致度候ニ付左ニ目的及從來ノ經歷等具申候條外國旅券御下附相成度保證人ノ保證書相添へ連署此段奉願候也

一 目的 何々

何國何地何學校ニ入り何學ヲ修メントス何國何地ニ赴キ何品ヲ販賣ス(別ニ方法ヲ定メタルモノハ其方法ヲモ記入スヘシ)又ハ何々

二 在留年限 何ケ年

何ケ年間ハ何地ニ何ケ年ハ何ケ國ヲ旅行ス

三 從來ノ經歷 商業又ハ學術技術研究ノ爲メ渡航スルモノニ限ル

第一項ノ目的ニ關係アル經歷ハ詳記スヘシ

四 資金及費用 總額幾圓

資金及費用ハ自己ノ所有金又ハ何縣何郡何町村大字何々某ノ出資或ハ借入ニシテ内何圓ハ資金トシ幾圓ヲ費用トス(修學者ニアリテハ學資金トシテ渡航後一ケ月(一ケ年)毎ニ何某ヨリ幾圓ヲ送金スル旨ヲ記スヘシ)

五 徵兵關係 何々

國民兵、豫備役、後備役、編入等(檢査不合格又ハ抽籤ニテ免除若クハ徵發セラレタレモノ等理由ノ明カナルモノハ之ヲ記入スヘシ)

六 犯罪並ニ破産 何々

前科ノ有無若アルトキハ其ノ事ノ詳細
破産若ハ家産分數ノ宣告ヲ受ケ又ハ身限リノ處ヲ受ケタルコトノ有無

年 月 日

原籍住所身分職業

本人

氏

名印

(本人氏名ノ右側ニ傍欄ヲ附スヘシ)

生 年 月 日
満 年 月 日

原籍住所身分職業

保証人又ハ政府ニ對シ
保護ノ義務ニ任スル

氏

名印

會社若ハ個人印

本 縣 知 事 宛

第二號書式

(勞働ヲ目的トスルモノニ限リ旅券下附願書ニ本願書ヲ添付スヘシ)

外國渡航許可願

私儀何々ノ目的ヲ以テ某國へ渡航ノ爲メ外國旅券下附願書出候ニ付渡航御許可相成度候也

年 月 日

原籍住所身分職業

本人

氏

名印

戸主又ハ家族引受人

氏

名印

本 縣 知 事 宛

縣報第百八十六號

明治三十六年三月廿一日

第三種郵便物認可

四

第三號書式

保 証 書

一 地 租

一 所得 稅

今般某何々ノ爲メ何國何地へ渡航ニ付拙者前記ノ財產ヲ目的トシ保証人ニ相成申候就テハ本人高一疾病其他困難ノ場合ニ於テハ御指揮ニ從ヒ之ヲ救助シ若クハ歸國セシムヘキハ勿論官廳ニ於テ之ヲ救助シ若クハ歸國セシメテラシトキハ其費金ヲ辨償スヘク又拙者ニ於テ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保証人ヲ定ムヘク尙此等ニ關シ官廳ヨリ命令セラルトキハ其命令ニ從ヒ義務ヲ盡シ可申候也

拙者從來渡航者ノ保証人ニ相立テシコト無之又ハ何年何月何日何縣何郡(市)何町村何大字某何國何地へ渡航ノ爲メ保証人ニ相立申候也
年 月 日

原籍住所身分職業

保証人

氏

名印

本 縣 知 事 宛

第四號書式

五十錢
收入印紙

外國旅券領收證

一 外國旅券

第何號 壹枚

但拙者某國へ渡航ノ爲メ御下附ノ分

右正ニ領收候也

年 月 日

本縣知事宛

本籍住所

本人 氏 名 印

○和歌山縣告示第九十七號

本月十三日海軍教育大將告示第一號ヲ以テ海軍兵學校生徒百八十名召集ノ儀告示セラレ候
 條同件往志願者ハ得ニ紙觸セキニ志願者ノ願書ハ來ル六月十日限リ兵學校へ到達ヲ要スル
 ニ付其ノ日數ヲ檢定シテハ町村役場并ニ郡役所市ハ市役所ヲ經テ願書ヲ管廳へ差出スヘシ
 明治三十六年三月十八日
 和歌山縣知事 椿 基一郎

○町村長助役、異動

海軍部有功村助役
 圓 節 平 吉
 全 郡津村有給村長
 鈴 木 嘉 一

右明治三十六年三月十八日認可

○觀 測

明治三十六年三月十六日ヨリ三日間當地氣象概況

縣報第百八十六號 明治三十六年三月廿一日 第三種郵便物認可 六

種 類	三月十六日		三月十七日		三月十八日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六四耗五	七五九耗六	七六一耗三	七六三耗六	七六二耗四	七六九耗二
平均氣溫	八度七	一〇度四	一一度二	八度八	一四度五	八度三
最高氣溫	一六度〇	一三度五	一七度〇	一二度四	二〇度五	一二度三
最低氣溫	一度八	七度八	五度四	五度五	八度〇	四度七
最多風向	北東	北	北東	北	北東	北
平均風力	三米〇	五米一	二米九	六米〇	二米三	六米四
天 氣	晴	雨	雨	雨	快晴	晴
雨 雪 量		八耗八	四耗一	二耗〇		
記 事		前夜來ノ 降雨午前 五時二十	午前三時 二十分ニ 降雨斷	前夜來ノ 降雨午前 二時二十		午后一時 ニリ二時 マテ強風

